



発行／公益社団法人 昭島市シルバー人材センター 編集／広報委員会

パトロールボランティアのみなさん ありがとう



子どもたちから寄せられた作品

〒196-0022 東京都昭島市中神町2丁目32番18号
 電話 042-544-7060 FAX 042-543-9272
 メールアドレス：akishima@akishima-sc.or.jp

会員数	男性	女性	合計
(平成24年9月24日現在)	820人	256人	1,076人

ホームページ：http://www.akishima-sc.or.jp

理事・地域班長全体会議が開催されました

今年度最初の全体会議が、9月7日昭島市市民交流センターで開催されました。

地域班長53名中39名が出席し、奥村理事の司会で、重要テーマの説明と意見交換が行なわれました。

会議に先立ち司会者から、黒岩会長が「公益財団法人東京しごと財団」の理事に選任されたことが報告されました。高齢者団体の代表ということで、当センターにとっても大変名誉なことで、会長の今後のご活躍を願って盛大な拍手が送られました。

これを受けて会長から、この4月1日、都内58のシルバー人材センターが新公益法人への移行を完了したが、センターを取り巻く環境は依然として厳しく、皆さんの協力をお願いしたいとの挨拶がありました。

田中常務理事から、以下の2項目について説明がありました。

1、昭島市シルバー人材センター現況について
8月末の会員数、7月の事業実績、事業所訪問（幼稚園・保育園）そして映像制作グループが初めて配分金を手にしたこと等が報告されました。

さらに、東京都狛江市シルバー人材センターと長野県中野広域シルバー人材センターから、当センターへの視察研修の要請があり、その期待に応えたいとの話がありました。

2、「昭島シルバーふれあい祭り」について

実行委員会で決定された実施概要が説明され、昨年を上回る盛会にするために、地域班長へ参加者動員の協力依頼がありました。

次に伊藤副会長から、以下の4項目について説明がありました。

1、就業契約について

新就業基準に基づく契約締結もようやく軌道に乗り、この9月末での再契約者については、既に8月の理事会で承認されている。

2、第二次中・長期計画について

平成19年度にスタートしたこの計画も、昨年度で中期5カ年計画を終了し、今年度は新たな5カ年の初年度であるが、当初の計画を見直すことなく目標に向かって実施する。

3、会員のしおりについて

現在の「会員のしおり」は平成20年度版で、公益社団法人移行に伴って不具合も多々あるので、改定するため総務部会で検討している。今年度末までには改訂版を作成したい。

4、退会者の会費について

会費未納者については、事務局で督促しているが、未納のまま退会する会員もいるので、地域班長にもこのような会員をフォローして欲しいとの依頼がありました。

1、安全就業標語の募集と結果について

清水辰男安全管理委員長より今年度は64作品の応募の中から、優秀作品1点、優良作品2点が選定されたとの報告があり、皆さんのご協力に対して謝意が述べられました。

最後に意見交換があり、特に「シルバーふ



れあい祭り」における当センターのPRについて貴重な意見をいただきました。
また、放課後子ども教室に就業する一部会員の挨拶・マナーについての苦言、さらに業務の正しい進め方・あり方について意見が交わされました。

新任理事研修に参加して

理事 藤森睦夫

今年度の「新任理事研修」が、7月12日東京しごとセンターで開催されました。

当センターから、石合進、藤森睦夫の新任理事が参加しました。

全国にシルバー人材センターの団体が1、294あり、事業規模も3、000億円を超えるなかで、東京都では58団体あり、事業規模は34億円だそうです。

ここ数年の事業状況は、会員数は横ばい・契約金額も1件当たりが小額傾向で、一人当たりの配分金も減少の結果となっています。

会員数については、全国では642万人と言われている団塊世代が現役を卒業して、いよいよ私達の仲間になってくると予測され、急増するであろうと思われる。

理事としての活動が、益々責任重大となり、法令順守の下で社会的責任を維持していくために、どう考え・どうやるか、色々勉強しながら一つ一つ解決していくしかないと思えました。

総務部会より

総務部会長 伊藤 周治

○就業基準について

今回の就業基準は適正就業の一つとして新たに制定されたものです。定款にもあるように、シルバー就業の基となるものは「臨時的、かつ短期的な就業またはその他軽易な業務に係る就業」と決められています。そして、就業される皆様は、センターとの就業に関する契約（請負または委任）の期間を3ヶ月以内と致しました。

今後、皆様とセンターとの契約を「就業契約」と呼びます。また、発注者とセンターとの契約を「受注契約」と呼びますのでよろしくお願い致します。

○契約及び再契約について

本年4月より皆様とセンターとの就業契約を進めてまいりました。締結件数が非常に多く皆様との締結が遅れてしまいましたが、一部を除いて無事終了しました。遅れてしまいました事に対しては、お詫び申し上げます。再契約の状況は6月と9月と2回の再契約を行うための検討を理事会で行い、大多数の会員が再契約となりました。

幼稚園・保育園事業所訪問報告

“名前を呼んでごあいさつ”

事業部会長 奥山 毅

今年も例年通り、事業部会委員、家事援助班と事務局担当者が手分けして、平日頃の発注に対してのお礼を申し上げながら、会員の就業状態の説明を受けたり、今後の仕事の継続発注をお願いしたり、センターとしての対応状況などについて伺ってきました。

今回は、幼稚園1カ所、保育園4カ所の5事業所を実施してまいりました。主な仕事は通園路の園児の見守りなどです。

訪問の結果について

○今後の仕事については、

新規の就業についてはなかったものの、現状通りの継続発注が予想されます。

○就業態度については、

すべての事業所で良好な評価を頂いています。

○接遇態度については、

園の関係者、園児とその送迎の家族すべてに良好でした。ある園では「会員が一人ひとりの園児の名前を呼びながら、送り迎えの挨拶をしてくれるという」ほのぼのとした光景が目に見えます。



安全就業標語決まる

安全管理委員長 清水 辰男

この度、安全就業の標語を募集し64点の多数の応募をいただきました。厳正な審査の結果次の3点が選ばれました。

優秀賞

☆今日も又 一声かけて 安全確認

優良賞

☆ベテランも 加齢とともににぶくなり 今中 文彦会員

☆無理をせず 安全就業 笑顔で我が家 武田喜美代会員



吉兼 和子さん

「この度、安全就業標語で優秀賞を頂き、本当にありがとうございました。嬉しく思いました。一声の声を出すのはいろいろな場面においてとても大切だと思います。一人の時も仲間といる時も声を出す、声をかける行為は改めて再確認できると思います。たった一声でも大きくはつきりと声を出して言いましょ。今日も一日平穩に過ごしていきたいと思います」

安全就業推進大会開催のお知らせ

- 日時 11月8日(木)午後1時30分から
- 場所 センター2階研修兼学習室
- 内容 一、安全就業標語表彰
- 二、健康管理講座(東京西徳洲会病院 肺炎について)
- 三、安全就業体験発表

見守りパトロールに感謝

昭島警察署 生活安全課長代理 村野 裕ゆたか

昭島市シルバー人材センターの皆様には、日頃から「安全で安心して暮らせる昭島のまちづくり」にご尽力いただきから敬意を表します。子ども達の元気な挨拶と明るい笑顔が見られるのも「見守りパトロール」を継続的に実施していただいている皆様のお陰とっております。

幸い、現在のところ、昭島市内においては、子どもを対象とする大きな事件は、発生しておりませんが、今後とも登下校時の子ども達に対する見守り活動を通じて「※よい子の約束」を広めていただきたいと思っております。

引き続き、昭島市の子どもの笑顔のために、これまで以上のご支援をお願い致します。

※よい子の約束

- ・知らない人についていけないひとりで遊ばない
- ・外に出掛けるときは、おうちのの人に連れていかれそうになったら大声で「たすけてー!」と叫ぶ

シルバーのおばさん

美堀町 武田 喜美代

自分の子どもや孫達が、近所の人々に見守られ育てられたことに「私も何かお返しをしなくては」と思いパトボラに登録しました。



拝見 第二小学校の西門で「お帰りなさい」「さようなら」「気をつけてネー」などの挨拶を交していると、最初のころは物珍しそうに見ていた子ども達も「さようなら」と返事をくれる子が日に日にふえてきて、ホッとしている近況です。

雲ゆきが怪しくなり、今にも降り出しそうなときに「傘を持って来なかったの?」と声をかけると「忘れてきた!」と校内に一目散で戻り、小走りで傘を片手に「ありがとう」と声をかけてくれたときは、体に温かいものを感じました。また通りますがりの人から「こ苦労様です」と声をいただいたときは、パトボラをやっていて良かったと実感します。

この子ども達から元気と癒しを貰いながらいつまでも「シルバーのおばさん」でいたいものです。

パトロールボランティア強化月間に寄せて

パトロールボランティア実行委員会

委員長 戸田 治夫

日ごろは、パト・ボラ（パトロールボランティア）活動へのご参加を頂き感謝申し上げます。

8月末現在の、パト・ボラ登録会員数は387名です。また、今年4月～8月（五カ月）の延べ参加人員合計数は8,264名で、昨年よりプラス1,753名で大幅に増加しています。昭島市シルバー人材センターの事業実績（仕事）のかなりの部分は昭島市からの仕事です。

パト・ボラ活動状況は、市役所にも報告をし、毎年感謝の言葉をいただいております。

児童生徒への犯罪被害を無くすための抑止力を作り上げるために、パト・ボラは必要な活動です。

また、パト・ボラに登録されていない会員は、ぜひこの機会に登録し、活動に参加してください。



後昭島市シルバー人材センター 昭島シルバーふれあい祭り

台風17号で天候が心配されたなか、9月30日午前10時から「第2回シルバーふれあい祭り」がセンター前の広場で開催されました。

関係の皆さんの尽力で前日から準備がなされ当日は、焼きそば、山形いも煮、もつ煮、団子、いもスティック、飲み物などの販売ほか、手芸品売り場や喫茶コーナー、さらに子どもコーナーなども設けられました。

広場では万華鏡やフラダンスの楽しい演技が繰り広げられ参加者の拍手を浴びていました。

後昭島市シルバー人材センター 第十六回会員作品展示会

併行してセンター1階の会議室では、絵画、書、写真、手芸、彫刻などの会員作品展も行われました。
(10月2日まで開催)



光華小学校 昔遊びのボランティア



わたしは、竹うまがすきになりました。いちばんやったのも竹うまです。いちばんがんばったのも竹うまです。きいろいおじさんがおさえてくれたからできました。ありがとうございます。

みゆ

ありがとうございます。これからもよろしくおねがいします。おかげでおてだまがもつとうまくなりました。ほかのあそびももうまくなりました。きゆうしょくでははなしてたのしかったです。ありがとうございます。

ひであき

竹うまたのしかったです。すこくたのしかったです。ありがとうございます。はねつきがたのしかったです。すこくたのしかったです。またきてね。こまがたのしかったです。またいつしよにあそぼうね。

こうへい

はねつきいっぱいおしえてくれてどうもありがとうございます。こんどもはねつきおしえてください。またあそびにきてください。

りゆうが

はねつきをおしえてくれたありがとうございます。わたしはいつか、はねつきの名じんになります。お手玉も竹うまもいろいろわかりやすくおしえてくれてありがとうございます。

ほのか

またきていつしよにありがみとかこまとかいつしよにやろうね。こまのやりかたをおしえてくれてありがとうございます。おりがみをつくってくれてうれしかったです。

ゆうこ

こまをおしえてくれてありがとうございます。こまもげん気でいてください。とてもたのしかったです。げん気でね。

れん

職場探訪くビデオ映像制作グループ

“持ち出し仕事”から脱出するぞ!

「平均年齢は70歳を
超えていますけど、気
分は30歳。みんな若者
なんですよお!」

センター2階の会議
室に、気炎を上げる5
人のスタッフが集って
いました。訪ねたのは、

内野精夫会員をリーダーとするビデオ映像制
作グループの定例会議。会議のテーマは「採
算の取れる映像ネタ探し」だったり「お金を
かけずに声優などのスタッフを集める人脈作
り」など。体当たりで、目の前の難問を突破
しようという熱気が伝わってきます。

会議のテーマに「お金」が登場するのは、
大は制作に必要な機材から、小は撮影現場へ
の交通費まで、これまではほとんど持ち出し
だったからだ。シルバーの仕事である以上、
やはり売り上げを立て、「コスト等を考えるべ
きだからです。」

グループのスタートは、平成22年6月のこ
と。シルバーでビデオ制作をと考えていた内
野会員の入会を機に、本誌「いずみ」などを



通じてスタッフを募集し、6人で活動を開始
した。

初の仕事は、しごと財団が作った「会員入
会時の説明ビデオ」を、昭島市オリジナルの
ものに作り替えるという企画。幸い、事業部
会、理事会の了承を得られて取り組んだのだ
が、予算なんてものはありません。

「完全なノーギャラ。登場する会員も、ナ
レーション役の声優も、「ネを伝った無料出
演。録音スタジオも市民会館の無料音楽室。
前述のように機材もす
べて自前という厳しい
環境を乗り越えてのも
のでした」と、最年長
の福田武会員。しかし
出来上がった作品は大
好評で、昨年秋季以降に
入会した会員の決意を
促す力になったはずだ。



初の配分金を手にしたのは今年の夏

これに自信を得たグループは、昭島観光ま
ちづくり協会主催の「第4回郷土芸能まつり」
の記録映像制作に挑みました。まず受注競争
があるが、東京では唯一売り上げを上げてい
る三鷹市シルバーの映像制作グループを見学
したりと丁寧な準備の結果、「初の配分金を
いただく仕事になったんですよ」と、リーダ

ーの内野さん。しかしそのプレッシャー
は大きかったようだ。「記録映像のため、
リハーサルもない一発勝負です。何度もロ
ケハンを繰り返して、本番当日に備えまし
た」と、佐藤司会員。「その時期が一番
大変だった」と、徳富博信会員、松浦儀則
会員も「うんうん」と同意の様子でした。

こうした努力の甲斐あって、今年5月27
日のまつり当日は快晴で、大きなミスもな
く撮影終了。2カ月近くの時間をかけて編
集、ナレーションなどの音入れ作業を行い、
見本盤が完成したのは7月になってからだ
そうです。同月、DVD60枚を「初の売上
商品」として納品、メンバーが配分金を手
にしたのは言うまでもありません。

これからの企画として「自分史」ビデオ
の作成というものもあるんだとか。古い写真
や8ミリ映像などを持っている方に、それ
らを組み合わせる
短編ビデオを作る
うというもの。
1作品2〜3万円
という低価格で、
まず、シルバー会
員の希望者を探し
ていることです。



(広報委員・岡裕美)

※ホットニュース

先の理事・班長全体会議でも紹介されましたが、当センターの黒岩会長がこのほど「公益財団法人東京しごと財団」の理事に選任されました。都内には58のシルバー人材センターがありますが、その方向性にもかかわっていく大事な立場です。私たちにとっても大変嬉しいニュースで名譽なことです。会長の今後のご活躍を期待し、また支援していきたいと思えます。

■事務局から■

名称変更による
会員証の取扱いについて

当センターが昨年の4月に「公益社団法人」へ移行したことに関連して、会員の皆様がお持ちの「会員証」の書換えについて問い

合わせがありますが、書換えはいたしませんので、そのままお持ちください。よろしくお願いいたします。

なお、就業での証明として利用する方で書換えが必要な場合は作り直しますので事務局までお持ちください。 事務局長 石坂勝彦

★掲二板★

●放課後子ども教室は冬時間になりました

4月から9月の夏時間では、17時15分まで実施していた放課後子ども教室は、10月から16時15分までの冬時間となりました。これに伴い、各曜日の担当者も3名から2名に減っています。放課後子ども教室班各会員は、ローテーション表をもう一度確認の上、就業を間違えないようお願いいたします。

●「お困り・お助け隊」って？



平成22年高齢者の所在不明問題が起こり、高齢者の孤立化防止や高齢者のみの所帯がクローズアップされ「地域福祉ネット」作りの動きが起きました。家事援助サービス班でも「暮らしの中で困っている、簡単な作業の助け」を目的として「ワンコイン（500円）として30分。月4回以上利用」のシステムで事業を始めました。例えば *ゴミ出し *針仕事 *新聞の整理 *ふとん干し *雨戸の開閉です。近所でお困りの方がおりましたらぜひ教えてあげてください。



「相談の日」
毎月第1火曜日
◇9:30~11:30
センター事務所 2階
※担当理事が相談をお受けします

編集後記

スポーツの秋たけなわですね。ロンドン五輪直後ということもあり、触発されて体を動かしたいと思う方も少なくないでしょう。激しいスポーツはともかくとして、ラジオ体操かなあ、ウォーキングかなあ、などと思案するだけでも楽しいですからね。日本全国各地には、シルバー体操というものもたくさんあり、ストレッチや中国体操、ラジオ体操や太極拳などを組み合わせたオリジナル体操が主流のようです。

昭島市にも「高齢者イキイキ・ニコニコ介護予防教室」に、いくつものスポーツ関連の教室があります。参加費1,000円。問い合わせは、市役所保健福祉部介護福祉課 高齢サービス係へ。

簡単な体操でも習慣にすると、知らぬ間に足腰が元気になり、躓いたり転倒したりが減るといわれています。体の衰えを示すシグナル、躓きや転倒を未然に防ぐためにも、今日から体操をはじめませんか？

広報委員会一同



自分も先生みたいに上手になりたい!! —— 筆耕講習会



ふれあい祭りを陰で支えた皆さん —— 5ページの記事と写真もご覧ください。



都立多摩職業能力開発センターの見学



理事・地域班長全体会議の質疑応答

安全就業標語

今日も又 一声かけて 安全確認